

富山地区の中学校再編（案）

1 富山地区学校再編検討委員会としての中学校再編の方向性（案）

富山中学校と富浦中学校の両校を統合させる。

2 富浦中学校との統合を検討する理由

- ア 生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人一人の資質や能力を伸ばしていくためには、統合により、生徒数を確保することが望ましいと考えられるため。
- イ 富山中学校は、現在、各学年1クラスだが、統合することにより、2クラス又は3クラスの学級編制ができ、クラス同士が切磋琢磨する教育活動や、クラス替えが可能となるため。
- ウ 学級数が少ないと、配置される教員も少なくなり、教育活動に制約が生じつつあるが、統合することによって教員の配置数を確保でき、より良い教育環境を提供できるようになるため。
- エ 生徒数の減少により部活動の実施が厳しくなっているが、統合することによって充実した部活動が実施できるため。
- オ 統合中学校の校舎を、富山中学校又は富浦中学校のどちらかの校舎を使用とした場合に、富山地区及び富浦地区のどちらかからでも、30分程度でスクールバスを使用した通学が可能であるため。
- カ 三芳地区を含めた内房地区全体として検討をすると、かなりの広範囲となること及び三芳地区の生徒数は当面の間は現状を維持することから、三芳地区は除いて検討を行うため。

3 学校の再編時期、学校の位置、学校の名称について

基本的合意事項である、学校の再編時期、学校の位置、学校の名称に関する事項については、富浦地区及び富山地区学校再編検討委員会合同会議で協議・検討する。